

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のマーケットは、原油安を起因としたグローバルなリスク回避の動きが一段と加速。ロシアアルーブルが前日比10%近く急落したことを受け、ロシア中央銀行は緊急の金融政策決定委員会を開催。通貨防衛のため、アジア時間朝方に大幅利上げを公表(10.5%→17%)したものの、ロシアアルーブルの動搖はその後も収まらず、一部では局所的な通貨危機の発生を危惧する声も高まっている。リスクセンチメントの悪化が新興国通貨全般の重石となっており、ドルレアルスポット相場もレアル売りトレンドが継続。FOMC後として見込んでいた水準である2.75に早くも到達すると、一時2.76台目前まで上昇し、10年ぶりとなる安値付近を記録した。ブラジル固有の材料としては、ボベスパ株式指数時価総額の10%弱を占めるペトロプラス株への懸念が引き続き意識されており、ファンダメンタルズの脆弱性も考慮すれば今後もレアルが弱含む展開が予想される。

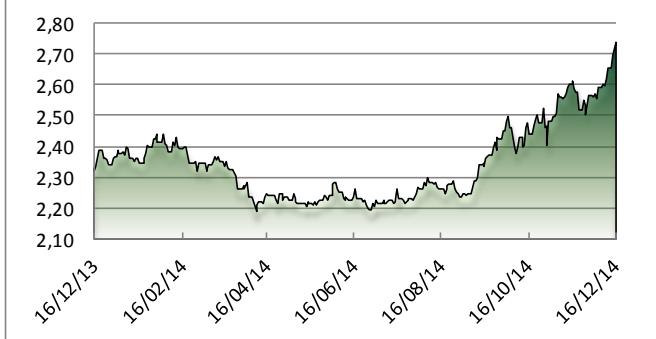
原油価格の下落は本来的には経済にとってポジティブな効果も期待できるが、その調整スピードが速いことに加え、需要減退が世界的な景気後退を連想させることで産油国であるロシアアルーブルを中心とした新興国通貨売りへ波及。これがグローバルな株安を引き起こし、リスクセンチメントの悪化が増幅されることでさらなる通貨安を招くという悪循環に陥っている。ドルレアルスポット相場もこの影響を受け、当初想定していたよりも速いペースで上昇が続いている。本日のFOMCにおいて、「相当期間(considerable time)」との文言が声明文から削除され、足許で低下している米金利が反転上昇する展開となれば、年内に一時的に2.80を上回る可能性もあると見ている。

マーケットデータ

Indicator	Unit	12月15日	12月16日	前日比	11月14日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	43,71	42,51	-1,20	44,69	-2,18
USD / BRL Spot	BRL	2,6958	2,7387	+0,0429	2,6016	+0,1371
USD / JPY Spot	JPY	117,82	116,41	-1,41	116,29	+0,12
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	47.019	47.008	-11	51.772	-4.764
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)	bps	235,6	240,9	+5,3	182,3	+58,6
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	12,71	12,80	+0,09	12,93	-0,13
DI Future Jan16 (金利先物)	%	12,64	12,92	+0,28	12,53	+0,39
3 Months US Dollar Libor	%	0,243	0,243	+0,000	0,232	+0,011
CRB Index (国際商品指数)	Index	241,1	238,8	-2,3	266,8	-28,0

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

